

東京聖栄大学報



食育イベント サンデー・クッキング(聖栄葛飾祭)
(日本フードスペシャリスト協会共催)

おいしいおやつの作り方を教える学生

第4号

2008.10

C O N T E N T S

大学の完成年度を迎えて.....	2	学友会活動.....	11
開学からのあゆみ.....	2・3	募金について・人事異動.....	12
管理栄養学科の活動.....	4・5	平成19年度決算報告.....	13・14
食品学科の活動.....	6・7	後援会・聖栄会の活動.....	15
学生支援センターの活動.....	8・9	19・20年公開講座.....	16
大学行事.....	10	大学附属わたなべ幼稚園だより.....	16

大学の完成年度を迎えて



理事長・学長
福澤 美喜男

平成 17 年に開学した東京聖栄大学は完成年度を迎えた。今年は今学期が揃い、一期生を来年 3 月には社会へ送り出す。完成年度を過ぎた来年 4 月からは、本学も大学として独り立ちができることになる。

この 3 年間で振り返ってみると、まだまだ改善しなければならない点があり、教職員はもとより、学生、後援会あるいは地域の皆さんと力を合わせて、更に魅力ある大学を築くために弛まぬ努力をしなければならないと考えている。

本学の建学精神は食と栄養に関する職業教育を通して、「誠意、熱意、創意」の三意の心を培い、以て社会に貢献できる人材の育成である。教育現場の責任者である先生方には、常にこの建学の精神を心に留め置き日々の教育活動を行ってほしいと願っている。また、本学のような小規模校では学生一人一人の顔が見える授業が可能であり、教職員と学生が常に信頼関係で結

ばれ、学生の資質を伸ばす教育をする、いわゆる「手作りの教育」を行い心身共に健全な青年を育てることが本学の使命であると考えている。

さて、今年最大の関心事は管理栄養学科の 4 年生が来年 3 月受験する管理栄養士国家試験であり、その成果が注目されている。この結果如何が後輩の志気に影響する。全員合格を目指して努力し、栄えある栄冠を勝ち取ることが、一期生諸君に科せられた課題である。「落ちて涙を流すより、合格するための汗を流しなさい」と特に言いたい。これからの努力に期待したい。なお、3 年生以下の学生は普段から受験のための準備をするため、学生自身が積極的にクラス又は学年で勉強会等を企画し、学生同士が切磋琢磨して苦手な教科を克服することを提案する。

食品学科ではカリキュラムの改正を急ぐ必要がある。食品学科を設置する際、当初は栄養士養成を視野に入れていたため、現在のカリキュラムのように栄養士養成の教科が残っている。完成年度を迎えるに当たりカリキュラムの見直しを行っている。更に学科にコース制（仮称フードサイエンスコースとフードビジネスコース）を導入する予定であり、広く食品業界のニーズに対応できるカリキュラムを目下検討中である。

大学の完成年度を迎え、心新たに大学の充実発展に努めたいと考えている。

開学からのあゆみ



東京聖栄大学開学式挙行政 (H17. 5)





6号館完成（機器分析室・研究室 H18. 4）



第1回入学式（H17. 4）



学生会発足（H18. 4）



創立者レリーフ完成（H19. 5）



大学・商店会フラッグ策定（H18.10）



創立 60 周年記念式典举行（H19. 5）



『聖栄葛飾祭』（青木葛飾区長来校 H19.11）

管理栄養学科の活動

管理栄養学科は、管理栄養士としてふさわしい高度で専門的な知識および技術を備えた専門職業の実務者を養成し、かつ管理栄養士国家試験に合格できる人材の育成を目標に平成17年度に開学し、今年度に完成年度を迎えた。その間、学生に対して専門教科および

臨地実習のための実力養成、管理栄養士国家試験対策、就職等を教育・指導を行ってきた。特に普段の学習や臨地実習、国家試験対策をいかに充実したものにするかは1・2年次での管理栄養士へのモチベーションの高揚と維持が重要であると考えている。

新入生の基礎学力向上教育

平成18年度から本学では新入生の基礎学力レベルを知ると同時に、入学後の大学教育への円滑な移行を図ることを目的として、入学直後に学力判定テストを実施している。実務者養成の基本は専門領域の基礎的な知識をいかに理解し、身につけるかということが重要であり、そのことが応用力への発展の鍵となる。高校で学んだ化学の基礎をしっかりと身に付けていることが

本学での学習上、必要不可欠なことである。そこで試験の結果から、高校での学習が充分でない学生および高校における化学未履修者に対しては学力向上講座を開設した。本年度は学習効果を高めるべく、習熟度別にコース分けし担当教員を配し、5月から7月にかけて時間割に組み込み、10回ほどの補習授業を実施した。

始めの一步 充実の1年生セミナー開催される



1NA 白井 瑞華
(私立成田高等学校・千葉県)

先生方や先輩方のセミナーでのお話で、印象深かったことは、管理栄養士になるならば、相手に対して説得力の

ある人間にならなければいけないということでした。そのために、知識を持つことも大事ですが、日頃から食生活やマナーなども大切だということがわかりました。このセミナーを受けて、今から常に自覚を持って生活していこうと思うようになりました。



1NB 小池 真貴
(県立甲府東高校・山梨県)

大学に入学する前は、友達が出来ると不安でしたが、セミナーの一環で「仲間づくりのエクササイズ」があり、早い段階でクラスのみんなと打ち解けることができました。友達もたくさんできました。また、先生方や先輩方からリアルな話を聞くことができ、より一層、管理栄養士に向けてがんばっていこうと思いました。そして、コミュニケーション力、マナーや言葉遣いに気を配ることの大切さも学びました。

階でクラスのみならず打ち解けることができました。友達もたくさんできました。また、先生方や先輩方からリアルな話を聞くことができ、より一層、管理栄養士に向けてがんばっていこうと思いました。そして、コミュニケーション力、マナーや言葉遣いに気を配ることの大切さも学びました。

1年生セミナーの目的

- ・学生同士の仲間づくりと教職員との親睦
- ・本学の大学生としての意識づけと適応の促進
- ・管理栄養士への道づくり



内容	4/8 学科教員・助手自己紹介 セミナー1 学科長講話 (阿左美先生) セミナー2 仲間づくり (岡田先生) セミナー3 管理栄養士の仕事 (植松先生) セミナー4 先輩の話を聞こう (4年小澤裕子 3年堅山幸織 2年高木智弘) セミナー5 グループディスカッション セミナー6 臨地実習の実際 (飯桶先生) セミナー7 管理栄養士国家試験合格への道 (伊澤先生) セミナー8 学科としての凝集性づくり (岡田先生)	10/5 親睦会 場所 都立葛西臨海公園 内容 班編成による昼食 (バーベキュー) と親睦を深めるエクササイズ 時間 10時~14時
レポート	セミナーに参加して感じたこと・気づいたこと 管理栄養士国家試験合格の方法	親睦会に参加して感じたこと・気づいたこと

管理栄養士国家試験対策

本学科では管理栄養士国家試験対策を円滑にするために「管理栄養士国家試験対策部会」、「対策ワーキンググループ」を設置し、部会長をはじめとして各教科担当、学年担任のほか関係教職員全員による支援体制を整えている。特に、今年度は平成17年入学生が4年生となり、初めての受験を控え国家試験対策が本格化している。管理栄養学科のカリキュラムは国家試験受験に対応するように編成されており、各学年次に科目が配当されている。本学では平常の授業のほかに1年次から国家試験受験準備のための時間を設けて全員合格を目指しての取り組みが行われている。その内容は以下の通りである。

1年次においては管理栄養士への意識啓発や国家試験に対する基本的な理解を深めるとともに国試関連基礎教科の習熟、基礎力養成を第一に進めている。新入生の基礎学力向上講座もその一環である。また今年度は入学直後の新入生ガイダンスの2日間をこれに当て、「管



理栄養士とは？」に対する理解と、これに必要な専門基礎教科の重要性を前期授業から認識させている。

2年次においては開講専門基礎教科の完全な理解が国試対策学習の基本であり、国家試験合格の必須条件であることを改めて認識させる。そのために1年次の専門8教科の学内模擬試験を実施し、学生個々人の習熟度を認識させている。

3年次では4月に当該年度の管理栄養士国家試験問題をもちいて本番さながらの試験を実体験させ、学生は国家試験の何たるかを知り、また実施する対策補習や各種模擬試験等とあわせて自身のセルフチェックをして4年次に備えさせている。1・2・3年次の夏季休暇には学生に課題を与え、管理栄養士国家試験対策の準備をスタートさせている。

4年次前期では当該年度の管理栄養士国家試験問題や学内・学外模擬試験を実施するとともに、国試関連教科の基本の習熟とその確認を徹底させるべく、ゼミナールや全関連教科の復習と問題演習を中心とした国試対策「特論」を開講した。また6月に国試対策特別講演会を催し、学生が今、そしてこれから何をなすべきか、対策達成度をどこまで作り上げるかなど時系列を持って確認させている。後期では学内・学外模擬試験を前期以上に実施し、特に前期「特論」で十分な学習効果が認められない、苦手な教科や分野の徹底した対策と十分なサポート体制のもとで本学科生の合格への道を確保できるようにしている。

臨地実習

臨地・校外実習は、実践活動の場での課題発見、解決を通して栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の融合を図り、管理栄養士として具備すべき知識及び技能を修得することを目的とする。

管理栄養学科では、栄養士法に基づき、実習内容に

関係の深い前提教科を修得した学生に対して、3年次に給食の運営（事業所等）、4年次には臨床栄養学（病院等）、公衆栄養学（保健所等）、給食経営管理論（福祉施設等）、総計4単位以上の実習を1班1～6名の少人数で実施している。主な実習先は下記を参照。

●3年次：事業所等

陸上自衛隊朝霞駐屯地
日京クリエイト習志野営業所
日京クリエイト茂原営業所
ニッコトラスト 本社
ニッコトラスト 文部科学省
ニッコトラスト セイコーインスツル(株)
ニッコトラスト (株)JP ビジネスサービス
ニッコトラスト 国際協力銀行
ニッコトラスト ライオン(株)平井営業所
ジャパンウェルネス 本社
ジャパンウェルネス (株)リコー厚木事業所
ジャパンウェルネス 日本ペイント
ジャパンウェルネス (株)リコー大森事業所

ジャパンウェルネス (株)リコー新横浜事業所
ジャパンウェルネス (株)リコー本社(銀座)
ジャパンウェルネス 新東京郵便局

●4年次：病院等

中野総合病院
東京慈恵会医科大学附属柏病院
賛育会病院
救世軍ブース記念病院
東京歯科大学市川総合病院
立正佼成会附属佼成病院
東京慈恵会医科大学附属青戸病院
東京医科大学病院
千葉大学医学部附属病院
大島記念嬉泉病院

浦安市川市民病院
坂本病院
千葉県がんセンター
国立がんセンター中央病院
国立成育医療センター
東京臨海病院

●4年次：保健所等

葛飾保健所
金町保健センター
水元保健センター
小菅保健センター
高砂保健センター

●4年次：福祉施設等

和翔苑

いなぎ正吉苑
東京大森老人ホーム
あすみの丘
太陽と緑の家
市川あさひ荘
東京愛育苑ケアレジデンス
奥戸くつろぎの郷
殿山亀寿苑
和楽園
清和園
なぎさ楽苑
愛泉苑

食品学科の活動

食品学科では、食品について幅広く、また深く学べるように、専門基礎分野の科目に加えて、食品と安全、健康と栄養、食品の加工と調理、食品と産業、食品分析の技術の各分野に種々の専門科目を設けている。現行のカリキュラムで勉強した学生は、食品についての

知識、理論、機器分析技術、食品加工技術を身につけることができ、現4年生は就職活動で製菓会社、製パン会社、惣菜・サンドウィッチ製造会社、食品問屋、クッキングスクール、ホテルなどの各企業に内定者が出ている。

新カリキュラムでさらなる飛躍を

食品学科はフードサイエンスコースとフードビジネスコースの2コース制に

新カリキュラムは、従来のカリキュラムの専門性や

就職への適応性をより高めるためにフードサイエンスコースと、フードビジネスコースの2コースを選択できるようにした。新カリキュラムの下、食品学科は、今後も食の世界で幅広く活躍できる人材を育成していくことになる。

フードサイエンスコース

このコースでは、従来の専門科目に加えて、品質管理、食品表示と関連法規、食品包装、食品製造機械、食品開発実習などを設け、食品産業にさらに対応しやすい教科内容にした。

主な科目名	食品包装（実習を含む）
	食品製造機械（工場見学を含む）
	食品開発実習
	創作メニュー実習

フードビジネスコース

フードビジネスコースでは、経営学、簿記・会計論、マーケティング論、フードコーディネーター実習、飲料サービス実習、英語コミュニケーションⅠ、Ⅱを設けてフードビジネスの分野で力を発揮できる人材を養成できるようにした。また、このコースでは、希望者が調理師資格を取得できることも検討している。今後の食品学科入学者は、これらのいずれかのコースを履修することで、さらに専門性を高めて勉強することができ、就職への対応も容易となる。

主な科目名	フードマネジメント論
	簿記・会計論
	フードコーディネーター実習
	飲料サービス実習
	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
	フードシステム論（食品流通論）
	食商品学
	マーケティング論（演習を含む）
	品質管理
食品表示と関連法規	

基礎力向上

食品学科では、1、2年の学生に後期終了時に、そのときまでに履修した各教科の課題を20から150項目のキーワードとして与え、その内容をレポート用紙にまとめて提出するように指導した。各教員がこれらのレポートを添削指導すると共に、後日理解度を把握するために

2回の総括試験を実施し、学生の実力を判定した。さらに各担当教員が答案を返却し補足すべき点を解説した。3年生に対しては、フードスペシャリスト資格認定問題を数回演習させ、食物学、食品の安全性、調理学、栄養と健康に関する教科に力がつくように指導した。

フィールド研修

食品学科では、1年の学生を対象に、食への関心を深めるために食の生産、加工の現場を見学・体験する2泊3日のフィールド研修（8月5日から7日）を実施した。研修先は、長野県伊那地方で、初日に伊那食品（株）の寒天工場を見学し、二日目に五平餅作りや野菜収穫を体験し、三日目に農事公園チロルの森でアイスクリー

ムづくりやそば打ちを体験した。クラス内で学生の親睦を深めることができた。



食事情海外視察研修

昨年度はアジアにおける食の先進国 タイ研修を実施した。首都バンコクで焼鳥・肉の缶詰工場や緑茶飲料の工場見学やローズガーデンのタイクッキングスクールでタイ料理に挑戦、水上マーケット視察などを通して奥深いタイの食文化に触れた。また、チェンマイではキューピー関連企業の野菜の冷凍食品工場を見学。

3回目の今年度は、2009年2月10日から18日イタリアを予定している。訪問する都市はミラノ、フィレンツェ、ローマである。ミラノではイタリアの大規模スーパーマーケットを見学し現地の食品事情を調査する。フィレンツェ郊外のアルテミーノでは伝統的なトスカナ料理を実習する。ローマでは、ピザ作りを体験しさらに郊外の農家を訪問して、自家製のワインやピネガーの醸造を見学する。国立パスタ博物館ではパスタの歴史、文化も学ぶ。各地の歴史ある遺跡も見学し実りある研修旅行としたい。



平成 20 年度食品学科イタリア研修

月日(曜)	日 程	【宿泊地】
11日(水)	ミラノ市内の見学(大聖堂、サンタマリア・デ・グラチエ教会「最後の晩餐」、ヴィットリオ・エマヌエレ2世アーケード等) 大規模スーパーマーケットにて食品市場調査等	【ミラノ】
12日(木)	トスカナ地方の中心フィレンツェの郊外にあるメディチ家の別荘、ヴィラ・メディチ・アルテミーノ(宿泊および研修先)へ	【アルテミーノ】
13日(金)	アルテミーノにてトスカナの伝統料理について研修(料理実習・ワイン蔵を見学)	【アルテミーノ】

月日(曜)	日 程	【宿泊地】
14日(土)	フィレンツェ市内の見学(ウフィッツィ美術館、花の聖母寺院/ドゥオーモ、シニョリア広場等)	【ローマ】
15日(日)	市内のイタリアンレストランにてピッツア作りの実習 ローマ郊外でアグリツーリズモを体験	【ローマ】
16日(月)	ローマ市内の見学および大規模スーパーマーケットにて食品市場調査 国立パスタ博物館にてパスタの歴史、文化について学ぶ	【ローマ】

インターンシップ

食品学科3年生は、夏期1～2週間のインターンシップで就業体験を積むことができる。学生は事前に社会での挨拶の仕方、マナー、非常時の危機管理対策等を勉強した。さらに各自履歴書を清書して各企業に提出し、自分がアピールできる点を再確認した。インターンシップを体験した学生は、各企業で社員が丸となって安心できる食品を製造している現状を体験し、食品系企業への就職の熱意をさらに高めることができた。

インターンシップを終えて

内定先：福南食品工業(株)

食品学科4年 門馬 由以さん

出身校 千葉県立佐倉南高校出身

3年生の夏に業務用調味料製造会社(福南食品工業)で1週

間の就業体験を行いました。私は、菌検査や完成品の品質チェックが主な業務でした。大学の授業の中で、培地作りや培養について学んだ微生物学実験や糖度や酸度を調べた食品学実験をそのまま活かすことができ、授業内容が実社会に直結していることを実感できたことが大きな収穫でした。さらに、職場環境も魅力に感じていた私にとって、就業体験先の企業から内定をいただいたことは幸運だったと思います。

19年度 研修先	20年度 研修先
第一屋製パン	葛飾区役所
アサマ化成	ケミ・コム・ジャパン
共立フーズサービス	小久保製氷冷蔵
ユニテックフーズ	コスモ企業
ヘクセンハウス	壽食品工業
オシキリ	三求化学工業
ケミ・コム・ジャパン	第一屋製パン
日本マクドナルド	福南食品工業
壽食品	森観光トラスト
福南食品工業	山崎製パン
ヤマザキナビスコ	ヤマザキナビスコ 古河工場
中村屋	ユニテック・フーズ
弥生水産	米屋
三求化学	共立メンテナンス
小久保製氷	白松がモナカ本舗
山崎製パン	デコボン
ラフォーレ倶楽部	中村屋 埼玉工場

学生支援センターの活動

学生支援センターは、完成年度を迎え、4月より1年次生から4年次生までのサポートを開始した。平成18年4月の学生支援センター発足以降、「マナー向上運動」「ECO推進運動」「四年制大学としての学友会活動等の支援」「『聖栄葛飾祭』(大学祭)の命名と開催」「1・2年次生へのキャリア支援」「就職情報企業による実践的就職活動対策講座」「地域共創事業の推進」「地

域関係機関との協力関係強化」などの新しい企画推進を行ってきた。

今年は「入試広報」「学生生活支援」「キャリア・就職支援」の広い3つの業務の中で、4年次生の誕生で「就職支援」が本格稼働した。今後は、入学前のサポートから学生生活支援、キャリア・就職支援、卒業生サポートまで対応できる体制の確立を目指している。

安心・安全講話会

5月9日(金)、新入学生を対象に、学内外の事件・事故の防止を目的に葛飾警察署の協力により安心・安全講話会を行った。葛飾警察署生活安全課の甲矢利信警部補の話は、学生が犯罪に巻き込まれない心構えや、交通事故に関与することのないような内容で、真剣な

話題ながら時間を忘れるほどのユーモアに溢れた講話会となった。



マナー講座



今年も、『マナー向上運動』を徹底するため、マナー講座を新入学生対象に6月12日(木)実施した。講師には、昨年引き続き元聖徳栄養短期大学非常勤

講師で、現在財団法人実務技能検定協会試験面接官の前田小百合先生をお招きした。「素敵な大学生生活を送るために」の方法を、マナー度チェック表や敬語ワークシートなどを利用し、実技を含め分かりやすく説明された。

学生はマナー講座での理解を、日々の生活において実践することが望まれる。3年次生には、秋に「就職対策マナー・面接講座」を予定している。

『食料・農業・農村白書』説明会

7月4日(金)、農林水産省大臣官房情報課課長補佐(分析班担当)の空閑信憲(くがのぶのり)氏による「食料・農業・農村白書」説明会が実施された。頻発する食に対する消費者の信頼を揺るがす事件や、食品表示監視・指導体

制、食料自給率向上の戦略的取組などの説明があった。



奨学金授与式



食品学科 金内加実 食品学科 櫻本 悟 管理栄養学科 福田 静 管理栄養学科 成松史織

東京聖栄大学奨学金授与式が、5月22日(木)行われた。東京聖栄大学奨学金は、本学3年次生の中から、学力優秀、品行方正かつ心身ともに健康なものに支給されるもので、今年度は、管理栄養学科、食品学科各2名、計4名の学生が福澤美喜男学長から奨学金を授与された。

キャリア・就職支援

学生支援センターでは、入学時ガイダンスからキャリアサポートを実施している。1・2年次では、入学時の就職模擬試験での実力判断やキャリアガイダンスを随時開催し、早い時期から学生のキャリア意識を啓蒙し、就職基礎知識の向上を目的としたサポートをし

ている。3年次から本格的な就職サポートを開始し、各種就職講座の開催や、学内企業説明会、就職登録カードの提出による一人ひとりの適性や希望の把握に基づく具体的なアドバイス等を行い、学生の希望を生かせる就職実績の確保に努めている。

就職特別講演会

6月19日（木）、全学年を対象に就職の基礎力養成を目的とした就職特別講演会を株式会社ロイヤルグリーンランドジャパン代表取締役の下田高明氏をお招きし開催した。アメリカでの留学経験を踏まえ、英語の重要性が指摘された。求められる人材像として、「変化に対応できる」「ひとよりも優れるものをもつ」「自分に投資

する」などを具体的に説明され、学生が将来の進路を考えるきっかけとなった。



第1期生の就職活動状況について

第1期生が4年次生となり、今年から就職支援が本格稼働した。第1期生には1年次からキャリア支援活動を行い、3年次の10月から就職サイトのグランドオープンにより本学生の就職活動が始まった。今年1月には、東京聖栄大学として初の就職内定者の報告を受けた。本学学生についても就職活動の本格化は、近年の就職活動早期化の流れを受け、後定期試験終了

後の春休みとなり、3月中旬から5月末までに就職希望者の多くが内定を得る結果となった。特に、管理栄養学科では、総合商社系列の大手給食会社から複数内定を得るなど順調な滑り出しとなった。9月10日現在の就職内定状況は、約85%である。学科別に見てみると、管理栄養学科では、多くの学生は管理栄養士職として内定している。食品学科では、研究技術、食品製造、調理、調理講師、食品を中心とした営業・販売など幅広い分野で内定している。

平成20年度 主なキャリア・就職支援行事

実施月	行事名	対象
4月	新年度ガイダンス	全学年
	就職ガイダンス（就職業者）	3年
	ベネッセ就職模試「スタート」	1・3年
	ベネッセ就職模試「キャリアアプローチ」	3年
5月	ベネッセ模試・解説ガイダンス	1・3年
	エントリーシート攻略テスト・自己PR作成シート	3年
6月	学内会社説明会（食品会社）	4年
	就職ガイダンス（就職業者）	3・4年
7月	特別就職講演会	全学年
	キャリア支援ガイダンス	1・2年
	公務員ガイダンス	全学年
	学生支援センターガイダンス	全学年
9月	就職ガイダンス（学生支援センター）	3年
	就職テスト、ネット登録説明（就職業者）	3年
	就職ガイダンス（就職業者）	3年
	SPI対策インターネット講座（就職業者）	3年
11月～12月（予定）	就職面談期間（学生支援センター）	3年
12月（予定）	就職面接対策講座	3年
	職種別就職ガイダンス・4年次生就活体験講話	3年
2月～3月（予定）	業界研究ガイダンス	全学年
	学内企業等説明会	3年

平成20年度 4年次生の主な就職内定先

<管理栄養士職>		<一般企業>	
1	東邦鎌谷病院	16	トオカツフーズ(株)
2	(社福) 中川徳生会	17	福南食品工業(株)
3	わたなべ幼稚園	18	(株)ユーハイム
4	(株)7&i・フードシステムズ	19	(株)ABC Cooking Studio
5	エームサービス関東(株)	20	小岩井乳業(株)
6	日清医療食品(株)	21	(株)クリエイト・レストランツ
7	日本給食サービス(株)	22	高瀬物産(株)
8	富士産業(株)	23	(株)スタッフサービスホールディングス
9	(株)グリーンハウス	24	UHA 味覚糖
10	(株)住商ドラッグストアーズ	25	三幸食品(株)
11	(株)セイジョー	26	タイハイ(株)
12	(株)メデカジャパン	27	(株)伊勢丹キャリアデザイン
13	(株)レオックジャパン	28	(株)ヴィ・ド・フランス
14	(株)レバスト	29	(株)ちよだ鯨
<公務員>		30	東日本旅客鉄道(株)(JR 東日本)
15	船橋市	(平成20年9月10日現在)	

大学行事

入学式

平成20年度 東京聖栄大学入学式が4月5日(土)わたなべ記念館で行なわれた。桜の花が舞うこの日は、管理栄養学科92名、食品学科48名が本学での一歩を踏み出した。

式は午前10時30分に開会され、福澤美喜男学長は式辞で、本学の沿革と建学の精神、教育の理念並びに、校訓の「和」の精神について触れた後、これからの学生生活について、「管理栄養学科の学生には卒業時に管理栄養士国家試験があり、生半可な勉強では合格しません。食品学科でも、最近問題になった残留農薬などの分析技

術を修得するには高度な化学的な知識と技術が要求され、授業以外にも勉強しなければ脱落します。

本学のような大学ではともすれば専門教科が重

視されがちですが、社会人になるためには教養を身につけることも大切です。これからの四年間が、今から始まる学生生活が有意義であったと思えるよう、努力することを願っている。」と教示された。

この後、新入生宣誓、ご来賓祝辞、さらに祝電披露と続き、最後に全員で校歌を斉唱し、式は滞りなく終了した。



TOPICS

大学・福澤学長栄養士施設協会表彰



6月12日(木) グラนด์プリンスホテル新高輪国際館パミールに於いて、

社団法人全国栄養士養成施設協会 創立50周年記念総会が開催され、開会式の席上、本学の福澤美喜男 理事長・学長が「協会事業功労者」として会長表彰を受賞した。

また、永年栄養士養成施設校として、本学を含め、全国238校の栄養士養成施設校が受賞した。

当日の来賓として、渡海紀三朗文部科学大臣もご臨席され、メタボ対策をはじめ栄養に関わる話を、笑いを交え挨拶された。その後、厚生労働大臣、東京都知事の祝辞も代読され、最後に日本栄養士会中村会長からも祝辞が述べられた。

午後からは通常総会が開催され、栄養士・管理栄養士の養成についての活発な意見交換がなされた。

夕方からは情報交換会が開催され、厚生労働省健康局担当官の挨拶をはじめ、協会顧問、三神協会副会長、賛助会員の会社の代表挨拶に続き、かっぱれ芸なども飛出し、盛況裡に幕を閉じた。

舛重学部長 学会で「功労賞」受賞



去る5月2日(金)～4日(日) 女子栄養大学坂戸キャンパスにて開催された「第62回日本栄養・食糧学会大会」において、本学健康栄養学部長舛重正一教授

が、永年に亘る「ビタミンAの栄養学的研究」の輝かしい業績から、同学会の本間清一会長より「功労賞」を授与された。

日本栄養・食糧学会大会は、栄養学分野では最大の大会で延べ2500名の研究者をはじめ栄養・食糧関係者が参加した。

これまでに、舛重学部長は、同学会において数多くの研究業績を発表してきた。

眞木准教授、食の安全に提言

今年1月～2月に社会問題にもなった「中国製冷凍ギョーザによる毒物中毒事件」に関して、本学食品学科眞木准教授がマスコミ各局から取材を受けた。1月31日付の朝日新聞社会面に毒物に関するコメントが掲載されたのをきっかけとして、NHK夜のニュース生出演のほか、TBS、テレビ朝日、フジテレビなど各方

面からのテレビ取材が殺到した。

食品偽造等の「食」に対する問題が騒がれている昨今、この事件は、日本の「食の安心・安全」を改めて考えさせられる機会にもなった。



NHKによる取材

学友会活動

会長挨拶



学友会会長 管理栄養学科3年
庄司 良平

この度、会長に承認していただいた管理栄養学科3年次生庄司良平です。本年度の学友会の目標として「闘魂」の二文字を掲げました。この二文字には常に成長するために闘っていくという意志が込められています。学友会役員の諸先輩方が築き上げた信頼と実績を基盤と

し、その上に今年度の学友会が成長した分を積み重ねられるように日々努力してまいります。

今年も大学祭などの行事をより一層盛り上げていこうと考えています。しかし、行事等を成功させるのは学友会役員の力だけでは不可能です。地域の方々と教職員、そして学生の皆様のご協力、お力添えがあって初めて成功させることができるのです。これからも、学友会役員一同をよろしくお願いいたします。

学友会総会・新入生歓迎会

4月16日(水)、「平成20年度学友会総会」が開催され、学友会暫定会則の改正、新役員の選出、19年度決算報告及び20年度予算案等が承認された。新役員は3年次生12名が留任し、2年次生12名が新しく選任され、庄司良平会長による新体制が発足した。

「新入生歓迎会」では、(株)伊勢丹キャリアデザインの派遣・採用事業部の真能和彦氏を招き『キャリアアップするための意識革新』と題する特別講演が行われた。



体育祭

5月30日(金)、心配されていた朝方の雨も回復し船橋市の本学第1グラウンドにおいて体育祭が開催された。完成年度ではじめての全学的行事として、4年次生も参加し実施された。学友会・体育祭実行委員会の企画・運営により「聖栄バトルロワイヤル」など新種目が行われ歓喜につつまれた大会となった。クラス対抗戦優勝の2FABクラスが「学長杯トロフィー」を勝ち取り、準優勝は3FA、3位は4FAクラスと食品学科の健闘が目立つ体育祭であった。



聖栄葛飾祭

『聖栄葛飾祭』と命名し3年目となる今年の大学祭は、11月7日(金)の前夜祭と8日(土)、9日(日)の本祭の日程で開催される。前夜祭は、はじめての企画として、地域密着をさらに進め近隣の方々を招待し開催される。前夜祭の『食育特別講演会』(全国栄養士養成施設協会後援)はテレビ・新聞等でおなじみの東京農業大学小泉武夫教授をお招きし実施する。奮って、ご参加ください。



また、「日本フードスペシャリスト協会」の助成事業を受け、高校生を対象とした食育イベント「おいしいランチコンテスト」が8日(土)に行われる。

部・同好会一覧

部	名	学生代表	
食品加工研究部	3FA	柳	華織
食品化学研究部	3FA	古澤	侑太
調理実習部	3NA	福田	静
硬式テニス部	2FA	山田	雅智
合気道部	3NA	井上	大輔
バレーボール部	2NB	志田	泰子
バスケットボール部	2NA	月岡	愛
華道部	3NB	西成	沙恵

同好会	名	学生代表	
ダンス同好会	2NA	栗山	歌織
バドミントン同好会	2FB	中川	麻由子
軽音楽同好会	3FA	坂本	龍太
あぐり	3FB	海保	りえ
栄養学研究会	3NA	吉田	博一
ソフトテニス同好会	1NA	江澤	摩美
フットサル同好会	3FB	新牛込	英里
野球同好会	3FA	村山	吉則
聖栄ピアヘルピングワークス	3FB	桑名	由佳
パン同好会	3FB	榎本	悟
剣道同好会	1NA	手塚	将
サッカー同好会	3NA	平塚	拓也

平成20年9月1日現在

教育研究施設設備拡充資金の募集について

本学は、約五十年に亘って、「食と栄養」に関する教育研究活動を展開し、栄養、健康など食生活の分野において社会に貢献する数多くの人材を世に送り出してきました。しかし、社会の変遷とともに生活様式が変化し、食生活の多様化が進み、生活習慣病の若年化など食に関する健康問題が社会問題としてクローズアップされ、食育基本法の制定、特定健診制度の導入など国民の健康保持増進のための栄養指導、食品衛生、食の安全性に携わる高度の専門知識と技術を持った資質の高い人材が求められています。本学ではこうした社会的ニーズに応えられる人材の養成に取り組んでおりますが、使命を達成するためには更なる教育研究環境の整備充実を推進していく必要があります。

昨今の私学を取り巻く客観的情勢は、少子化の影響や国庫補助金の減額などにより、一段と厳しさが増してきており、私学財政は新たな局面を迎えております。もとより本学園と致しましても財政基盤の確立に最善を尽くしていく所存ではありますが、教育研究施設設備の改善充実に応える財源は、学生納付金や国庫補助金には余り期待はかけられず、財源の相当部分は大学関係者並びに社会一般からの寄付金に頼らざるを得ないのが実情であります。何卒事情をご賢察のうえ、諸物価高騰など諸事ご多端の折からまことに恐縮に存じますが、寄付募金にご協力くださいますようお願い申し上げます。

人事異動

〈教員〉



- 採用 平成20年4月1日付
教授 阿部 芳首（あべよしもと）
主要担当教科
「基礎化学」「生物有機化学」

理学博士（東京理科大学）
東京理科大学教授 同大学総合研究所先端材料研究部門長、野田地区図書館長、東京理科大学学長補佐を歴任 同大学院教授を経て本学教授 東京理科大学名誉教授

助手 阿部 秀代
穂苺 亜紀（所属変更）

- 補職 平成20年4月1日付

校医 教授 柳瀬 昌弘

- 退職 平成20年3月31日付 教授 牛腸 ヒロミ
平成20年9月15日付 助手 宮下 和子

募金要項

- 目的：教育研究施設設備拡充資金に充当するため。
- 募金目標額：1千万円
- 寄付金額：1口 5万円
(なるべく2口以上を希望します)
- 募集期間：平成20年12月20日まで
- 申込書振込方法：本学園所定の用紙をご利用ください。
- お問合せ：事務局財務課募金係
TEL 03 - 3692 - 0211

◎この募金は、税法上所得税の寄付金控除の対象となります。ただし、20年度入学生については、税法上「学校の入学に係る寄付金」とみなされ、寄付金控除の対象となりませんのでご了承ください。詳細については募金係までお問い合わせください。

募金受入状況

平成17年度以降現在までの募金受入状況は下表のとおりです。

この募金は、別口座にて積み立てられ募金の趣旨に則り教育研究施設設備充実のために有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額 (円)
平成17年度	33	3,150,000
18年度	41	3,750,000
19年度	32	2,700,000
20年度	14	1,400,000
合計	120	11,000,000

☆20年度は6月20日現在（目下受付中）

〈職員〉



- 昇任 平成20年4月1日付
栗田 佳和
学務課長補佐（学務課係長）

- 採用 平成20年1月～平成20年5月付

小船井 恵 財務課

兒玉 慶愛 財務課主任

小林 益夫 財務課 (順不同 敬称略)

訃報



安井 恒男 先生

元聖徳栄養短期大学教授、筑波大学名誉教授。去る平成19年11月7日逝去。先生は平成3年から7年間教授として、その後は客員教授として学生教育にあたられました。享年80歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成19年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

平成19年度決算に基づく本学園の財務状況は別表の通りである。

1. 資金収支計算書

本年度の資金収支の決算規模は、36億6300万円となり、前年度比2900万円減となった。前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は、14億100万円であり、これに対して当年度支出額は18億8600万円となったので、次年度繰越支払資金は前年度比4億8500万円減の17億7700万円となった。

資金収支計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで) (単位 千円)

	収入の部			
	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	846,675	848,387	△1,712	
手数料収入	23,770	22,087	1,683	
寄付金収入	9,000	10,829	△1,829	
補助金収入	143,777	156,617	△12,840	
国庫補助金収入	100,000	111,633	△11,633	
地方公共団体補助金収入	43,277	43,466	△189	
その他補助金収入	500	1,518	△1,018	
資産運用収入	5,199	11,290	△6,091	
資産売却収入	1,000	1,066	△66	
事業収入	25,214	26,638	△1,424	
雑収入	15,200	35,025	△19,825	
前受金収入	551,975	469,703	82,272	
その他の収入	293,724	255,291	38,434	
資金収入調整勘定	△435,076	△435,813	738	
前年度繰越支払資金	2,261,766	2,261,766		
収入の部合計	3,742,226	3,662,887	79,339	
	支出の部			
	科目	予算	決算	差異
人件費支出	727,548	677,096	50,452	
教育研究経費支出	208,935	205,657	3,278	
管理経費支出	210,874	211,678	△804	
借入金等利息支出	3,960	3,960	0	
借入金等返済支出	12,260	12,260	0	
施設関係支出	19,300	19,991	△691	
設備関係支出	69,850	73,925	△4,075	
資産運用支出	500,000	500,648	△648	
その他の支出	224,778	209,616	△15,162	
[予備費]	10,000		10,000	
資金支出調整勘定	△26,380	△29,071	2,691	
次年度繰越支払資金	1,781,101	1,777,127	3,974	
支出の部合計	3,742,226	3,662,887	79,339	

2. 消費収支計算書

消費収入は、帰属収入11億1400万円となり、前年度比1億8400万円の増となった。基本金組入額は3号館校舎の解体除去による基本金取崩額が当年度組入額を上回ったため計上されず、消費収入の部合計額は11億1400万円であった。当年度の消費支出超過額は2億5800万円となり、前年度繰越消費支出超過額3億8400万円、基本金取崩額1億7100万円があり、当年度決算における翌年度繰越消費支出超過額は4億7000万円となった。

消費収支計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで) (単位 千円)

	消費収入の部			
	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	846,675	848,387	△1,712	
手数料	23,770	22,087	1,683	
寄付金	10,700	12,569	△1,869	
補助金	143,777	156,617	△12,840	
国庫補助金	100,000	111,633	△11,633	
地方公共団体補助金	43,277	43,466	△189	
その他補助金	500	1,518	△1,018	
資産運用収入	5,199	11,290	△6,091	
資産売却差額	1,000	1,066	△66	
事業収入	25,214	26,697	△1,483	
雑収入	15,200	35,025	△19,825	
帰属収入合計	1,071,535	1,113,739	△42,203	
消費収入の部合計	1,071,535	1,113,739	△42,203	
	消費支出の部			
	科目	予算	決算	差異
人件費	709,048	663,828	45,220	
教育研究経費	386,633	399,930	△13,297	
管理経費	228,089	229,472	△1,383	
借入金等利息	3,960	3,960	0	
資産処分差額	65,051	69,358	△4,307	
徴収不能額	4,000	4,718	△718	
消費支出の部合計	1,396,781	1,371,266	25,515	
当年度消費支出超過額	325,246	257,527		
前年度繰越消費支出超過額	383,718	383,718		
基本金取崩額	172,330	170,935		
翌年度繰越消費支出超過額	536,633	470,310		

3. 貸借対照表

19年度末の資産の部合計額は96億4600万円であり、前年度末より2億2400万円減となった。負債の部合計は10億8100万円であり、前年度末より3400万円増加した。基本金の部合計は90億3600万円となり、前年度末より1億7100万円減となった。消費収支差額の部合計は4億7000万円の支出超過となっている。

負債の部、基本金の部及び収支差額の部合計は、96億4600万円となった。

貸借対照表 (平成20年3月31日) (単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,709,054	7,434,802	274,253
有形固定資産	6,162,746	6,348,619	△185,872
土地	2,020,960	2,020,960	0
建物	3,604,004	3,801,567	△197,563
その他の有形固定資産	535,782	526,092	11,691
その他の固定資産	1,546,308	1,086,183	460,125
流動資産	1,937,131	2,435,032	△497,901
現金預金	1,777,127	2,261,766	△484,639
その他の流動資産	160,004	173,266	△13,262
資産の部合計	9,646,186	9,869,834	△223,648
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	541,981	567,469	△25,488
長期借入金	195,520	207,740	△12,220
その他の固定負債	346,461	359,729	△13,268
流動負債	538,528	479,160	59,367
短期借入金	12,220	12,260	△40
その他の流動負債	526,308	466,900	59,407
負債の部合計	1,080,509	1,046,630	33,879
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	8,244,084	8,380,025	△135,940
第2号基本金	661,903	696,897	△34,994
第4号基本金	130,000	130,000	0
基本金の部合計	9,035,987	9,206,922	△170,935
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△470,310	△383,718	86,593
消費収支差額の部合計	△470,310	△383,718	86,593
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	9,646,186	9,869,834	△223,648

4. 財産目録

資産は、基本財産68億8500万円であり、運用財産24億8600万円、収益事業用財産は2億8300万円、資産の部合計額は96億5500万円である。

負債は、固定負債5億4200万円、流動負債5億3900万円、収益事業用負債800万円、負債の部合計は10億8900万円である。資産の部合計から負債の部合計を差し引いた正味財産は85億6600万円となり、前年度より2億5700万円減少した。以上

財産目録 (平成20年3月31日現在) (単位 千円)

I 資産総額	9,654,800
内 基本財産	6,885,409
運用財産	2,485,928
収益事業財産	283,464
II 負債総額	1,088,586
III 正味財産	8,566,214

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	6,885,409
有形固定資産	6,162,746
土地	18,858.76 m ² 2,020,960
建物	16,364.40 m ² 3,604,004
構築物	70,954
図書	49,177 冊 133,069
教具・校具・備品	9,077 点 325,764
車輜	7 台 7,995
その他の固定資産	722,662
施設設備拡充引当特定資産	661,903
借地権	59,900
その他	860
2. 運用財産	2,485,928
現金預金	1,777,127
定期預金	500,000
有価証券	142,415
その他	66,386
3. 収益事業用財産	283,464
資産総額	9,654,800

負債額	
1. 固定負債	541,981
長期借入金	195,520
その他	346,461
2. 流動負債	538,528
短期借入金	12,220
前受金	469,703
その他	56,605
3. 収益事業負債	8,078
負債総額	1,088,586

正味財産 (資産総額－負債総額)	8,566,214
---------------------	-----------

※財務状況の詳細については大学ホームページをご覧ください。

後援会・聖栄会の活動



後援会会長
齋田 浩三

東京聖栄大学も開学から4年目となり、全学年が揃い、後援会にも全学年の保護者の方々に加入していただくようになりました。今後は更なる学生への支援及び大学の発展向上のための活動が期待できます。

開校からの4年間は食に関する様々な問題が起こり、食に対する関心が高まっております。第1期卒業生となる皆様には活躍の場が広がっていると思われま

す。後援会といたしましては、4年生への就職活動や管理栄養士取得の支援、1年生から3年生に対しては大学生活へのさらなる支援を行います。また、保護者の方々と教職員との懇談会の開催等により、後援会活動を盛り上げたいと思います。

後援会の主な活動

平成 19 年度

- 保護者懇談会開催（9月15日（土））
保護者と教職員懇親会
- 後援会会報の発行（10月1日付）
- 学園創立60周年記念事業協賛
- 会議の開催

定期総会	4月4日（水）
役員会	6月16日（土）・9月15日（土） 3月22日（土）
役員四役会	2月23日（土）

平成 20 年度

- 保護者懇談会開催（10月4日（土））
保護者と教職員懇親会
- 後援会会報の発行（2回発行予定）
（10月1日付）（3月中旬予定）
- 会議の開催

定期総会	4月5日（土）
役員会	6月7日（土）・3月下旬
役員四役会	2月下旬



聖栄会会長
荻野 薫子

東京聖栄大学にとって、早、4回目の入学式を迎えて、全学年が揃いました。心よりお慶び申し上げます。

福澤美喜男学長は、大学開学式、入学式、創立記念式典の折々に、創立者、渡邊正助、渡邊富久子両先生が唱えられました“建学の精神”を教育の理念、教育の方針とされ、受け継がれておられることを、卒業生として、ありがたく思っております。

学長は、社会適応能力のある学生を入学させて意欲的に学ばせて、送り出すとも述べています。私も全く同感でございます。卒業してすぐ実践できる能力、他者と協力できる能力、国家試験に合格できる能力を育てていただきたいと思います。

※聖栄会は東京聖栄大学・聖徳栄養短期大学の同窓会です。

聖栄会の主な活動

平成 19 年度

- 4月 聖栄会便りの発行
- 6月 定期総会ならびに懇親会の開催
本学会議室多目的ホールにて
- 10月 第19回食文化研究会の開催
東京白山の volo cosi において北イタリア料理についての研修
北イタリアの伝統食であるコテキーノを試食し調理法を学んだ
- 11月 聖栄葛飾祭への参加
学友会主催の餅つき大会に協賛
会員ならびに来場者のためのお茶席を設ける

平成 20 年度

- 4月 聖栄会便りの発行
- 6月 定期総会ならびに懇親会の開催
本学会議室多目的ホールにて
- 10月 第20回食文化研究会の開催(20回記念バス旅行)コース
佐原酒造工場見学～町並み散策～佐倉カステッロにて昼食～
シイタケ狩り～川村記念美術館にて名画鑑賞
- 11月 聖栄葛飾祭への参加
学友会主催の餅つき大会に協賛
会員ならびに来場者のためのお茶席を設ける
- 3月 第1期卒業生に記念品贈呈

19・20年度公開講座

19年度の公開講座は、大学5講座・専門学校4講座を実施し定員346名に対して386名（延べ数）の方から応募をいただきました。過去に応募や参加された方のリピータ数は51.6%を占め、高齢者が参加しやすい座学講座「健康栄養講座 part I～Ⅲ」は、約8割がリピータの方でした。小学生を対象とした「ジャムとパンづくり」と「バターと裂けるチーズづくり」の2講座は新規応募数も多く定員を大幅に超え抽選で受講者を決定しました。小学校高学年対象の「バターと裂けるチーズづくり」講座は、6号館機器分析実験室で実施したこともあり小学生では日頃なじみのない実験室の設備環境に関心が高まり理科学習に対する相乗効果が上げられました。

20年度の大学公開講座は、開講数を減らして2講座としました。その主な理由は、大学4年生の指導が開

始されることや諸機関から先生方へ講師派遣などの依頼件数が増加していることが挙げられます。

20年度第1回目として6月に健康栄養講座「認知症の予防と介護」を開講しました。応募者数が79名と地域の皆さんの関心も高いほか、介護施設などで従事されている方からの応募も数多く見られました。講師の管理栄養学科教授、柳瀬昌弘先生は医師と老人介護保健施設長のご経験を踏まえ実態に合わせた講義を進められ参加者の方々は真剣に受講されていました。

第2回目は、10月に食品学科教授の井筒雅先生による「バターと裂けるチーズづくり」を昨年に引き続き開講します。なお、姉妹校の聖徳調理師専門学校では、12月に「クリスマス料理講座」と「お正月料理講座」の2講座を予定しています。

大学附属 わたなべ幼稚園だより

わたなべ幼稚園では、食育を進めていくうえで、歯の健康管理に取り組み始めました。

鎌ヶ谷市歯科指導の先生、歯科園医の花香先生の協力のもとに、年長組は昨年暮れから、年中組は本年度6月よりフッ化物洗口をはじめました。

フッ化物洗口とは、フッ化物洗口薬剤を溶かした0.05%水溶液を作り、1人5ccで30秒うがいを毎日行うことで、虫歯の発症率を下げていくのです。

洗口を始めるのにあたり、園児たちは毎日30秒砂時計とにらめっこしながら、うがいの練習をしていました。

先日恒例の歯科検診が行われましたが、年少組の園児たちは虫歯がほとんどありません。年中・年長組になるに従い増えていくのが毎年の例です。

歯の健康管理は年齢に関係なく大切なこととして子ども達に伝えていくこと、食物を美味しく、楽しく食べることで、体の栄養となることを子ども達にわかってもらうようにして行きたいと思えます。

6月は新入園児たちも幼稚園に慣れ、色々な行事が用意されています。その中でも楽しみなのが保育参観です。毎年土曜日に開催しています。

今年は、年少組は動物体操を始め、“体を使って動物乗り物に変身”などお父さんと楽しそうにリレーをし

ました。

幼稚園児を持つ保護者の方には、遊びのテクニックをぜひ持ってほしいものです。

年中組は親子で冒険“宝を探し出せ”と新聞紙で冒険に出かける帽子を作ったりしながら、自分達で物語の主人公になりきって楽しんでいました。

年長組は“マリオネットを作ろう”と少々難しい題材に取り組んでいました。園児たちはもちろん保護者の方々が一生懸命作品作りに取り組んでいました。出来上がった作品はとってもユニークで力作ぞろいでした。マリオネットの足につけたペットボトルの足がマリオネットを動かすたびにリズムカルに音を奏でているのが印象的でした。

保育参観を通して保護者の方々も「子ども心」を忘れないで一緒に楽しむきっかけにさせていただいたのでと思います。

